

# まちの ニュース

## 日ごろの感謝の気持ちを込めて祝う敬老会



田村市長などから、記念品が送られました(荒沢会場)

長年にわたり、地域社会の発展に貢献してきたお年寄りに敬愛と感謝の気持ちを込めて長寿を祝おうと9月10、12の両日、市内7会場で敬老会を開催しました。

10日は松尾地区1会場、安代地区2会場で、14日は西根地区4会場それぞれ開催。対象となった75歳以上の人は、西根地区で2679人、松尾地区で1169人、安代地区



元気いっぱいにお遊戯を披露する杉の子保育園の園児たち(大更会場)

で1326人で、市全体では5174人になりました。

式典で田村正彦市長は「今日の日本があるのも、皆さんが地域を支えてきてくれたおかげです。趣味など生きがいを見付けて、元気で長生きしてください」とあいさつしました。

節目の年を迎えた77歳、88歳、89歳、99歳、百歳以上の人には、市から湯飲み茶碗やタオルケット、平館高校から寄贈された紫薫まくらをそれぞれ記念品として贈呈。式典後には各会場で懇親会を開催し、地域の園児や小中学生などが日ごろの感謝の気持ちを込めて歌や踊りなどを披露し、出席したお年寄りを楽しませました。

## 収穫体験を通じて食と農の大切さを学ぼう

市農業委員会と寄木保育所は、食農教育事業の一環として9月2日、寄木地内の畑でジャガイモとニンジン収穫体験を行いました。

委員16人と年長組の園児13人に加えて、同保育所で職場体験をする松尾中2年の高橋徳成君も作業しました。

園児たちは、5月に自分たちで植えた野菜の成長ぶりに驚きながら、自分の名前札が

立てられた畑を丁寧に掘り返していきます。大人や中学生の助けを受けながら、大きな野菜を収穫すると「こんな大きい野菜が取れた」など喜びながら満面の笑顔を見せ、楽しみながら収穫に汗を流していました。

収穫した野菜は、10月に開かれる収穫祭でカレーライスに調理し、園児たちが味わう予定です。



↑職場体験の中学生や大人の力を借りながら、収穫を体験します

←収穫したニンジン大きさに驚きながら、園児たちは満面の笑顔を見せました

## リンドウが結ぶニュージーランドとの交流

ニュージーランドのイアン・ケネディ駐日大使は8月26日、市内を訪れ、リンドウ生産施設の視察や生産者との懇談を行いました。

ケネディ大使の訪問は、リンドウの栽培や新品種の開発などで協力を続けてきたニュージーランドと市の生産者の草の根交流がきっかけ。花き研究開発センターで行われた懇談会では、リンドウを通してこれまでの交流の歩みを振り返りました。



施設の説明を受けるイアン・ケネディ駐日大使

## 給食を届けるエコロジーカーが運行を開始

市給食センターバイオディーゼル燃料運用開始式は8月28日、同センターで行われました。

バイオディーゼル燃料の運用は、市の公用車では初めての試みです。運用される燃料は、市内の給食センターで使われた食用油から精製。西根・松尾地区で給食を配送する車両1台がこの燃料を使って運行します。冬期間を除く3月までで700リットルのバイオ燃料の使用を予定しています。



バイオディーゼル燃料を給油する田村正彦市長

八幡平市産業振興株式会社社長杯ゲートボール大会は8月27日、岩手山焼走り国際交流村で行われました。

市内の第3セクター4社の合併により今回から大会名を一新。晴天に恵まれ、参加した22チームは5つのコートに分かれ、日ごろの練習の成果を発揮し、はつらつとプレーしました。大会の主な結果は次のとおりです。

▽①渋川・五百森チーム、②山崎チーム、③大東・樺沢チーム

## 岩手山を望む最高のロケーションでプレー



芝生の上でのゲートボールを楽しむ参加者



山車を引きながら地域を練り歩く子どもたち

伊那々伊沢神社の祭典は9月20日、松尾地区の同神社境内とその周辺を会場に行われました。

掛け声を上げながら太鼓を打つ小学生を乗せた山車と、松野保育所の園児たちが引く子ども山車が、元氣よく地域を練り歩きました。

各家庭や事業所の前などで、地域の女性たちが縁起のいい大黒舞を踊り、家内安全や商売繁盛などを願いながら巡り歩きました。

## 五穀の恵みなどに感謝する祭典を華やかに



## 秋の花で飾るハンギングバスケット講習会

松尾地区公民館講座「秋のハンギングバスケット講習会」は9月5日、松尾地区公民館で行われました。

高橋良子さんを講師に招き、コリウスやメランポデウムなどの花を使ってハンギングバスケット作りに挑戦しました。講師の指導を受けながら、手順を追ってバスケットに花を植え込みます。完成したバスケットを前に、参加者は満足そうな笑みを浮かべていました。



指導を受けながら、バスケット作りに挑戦します

## 安心安全を守る指導隊・防犯隊へ辞令交付



田村市長から隊員へ辞令を交付

市交通指導隊と市防犯隊の辞令交付式は9月1日、西根地区市民センターで行われました。

式典で田村正彦市長は「交通事故や犯罪件数も、皆さんの尽力で減少傾向にあります。今後さらなる活躍をお願いします」とあいさつ。新任を含む市交通指導隊32人と、市防犯隊41人に辞令を交付。隊員たちは、地域の安心安全を守ろうと決意を新たにしています。

イオン株式会社マックスバリュ西根店は9月1日、市内の小学校に合計7万円分の図書カードを寄贈しました。これは、同社のイオン幸せの黄色いレシートキャンペーンの一環で、投かんされた黄色いレシートの1割に相当する額を贈るものです。



贈られた図書カードは小学校の図書購入に使われます

## 小さな善意が集まり小学校へ図書券を贈る

高橋北英教育長は「皆さんから贈られた善意を子どもたちのために大切にに使わせていただきます」とお礼の言葉を述べました。



家族と一緒に百歳の誕生日をお祝いしました

特別養護老人ホームむらさき苑に入所する立花ミヨノさん（平館）は9月9日、めでたく百歳の誕生日を迎えました。立花さんは明治41年、北上市生まれ。夫の故・竜三さんとの間に5男2女の子に恵まれました。農業に精を出す働き者で、病気もほとんどしたことがないという元気なおばあちゃんです。

## 家族と迎える百回目のハッピーバースデー

お祝いに駆け付けた家族に囲まれ、立花さんはうれしそうな笑顔を見せていました。

## 初秋の安比高原を快走するリレーマラソン

あつぴりレーマラソン2008は9月14日、安比高原を会場に開催されました。第15回となる節目の大会に全国から242チームがエントリ。約2千人のランナーが、1周2キロコースをたすきをつないでフルマラソンを走

りました。

一般や職場、ファミリーなど6部門が号砲とともに一斉スタート。沿道で見守る応援団からの声援を力に換え、制限時間の4時間半以内のゴールを目指して初秋の安比高原を駆け抜けました。



↑号砲が鳴り響くと同時に、全チームが一斉にスタート

→たすきをつなぎ、きずなを深めたチームメイトたちとともにゴールテープを切る瞬間は、まさに感動



わたしの主張北岩手地区大会(同実行委員会主催)は9月3日、安代中学校で開かれました。

開会式で田村正彦市長は「中学生が主張を述べる機会があることは大変意義のあること。皆さんの主張を楽しみにしています」とあいさつしました。

岩手町、葛巻町、市の中学校の代表12人が、それぞれのテーマに基づいて意見を発表しました。

最優秀賞に輝いた松尾中3年の藤原寛君は「吃音」の壁



すばらしい主張を披露した参加者

を越えて」と題して、人前で話をするのが苦手な自分が児童会長を務め、繰り返し練習することで自信を付けて克服した体験を紹介。「苦手だからといって逃げ出すのではなく、努力することで自信に変えていくことが大切です」と呼び掛けました。

藤原君は、9月24日に開かれる岩手県大会にも出場しました。

市から出場したそのほかの参加者の主な成績は次のとおりです。

▽優秀賞 伊藤香織(安代中3年)▽優良賞 山下晋(西根中3年)、小野寺美世子(西根第一3年)

## 努力の大切さなどわたしの主張を披露する



最優秀賞に輝いた藤原寛君